発行：社会福祉法人中央有鄰学院
里親支援センターほだかの里
令和 8年 10月　vol.17

ずっととなりに…

ほだかの里DEお泊り会







7月29日～30日にほだかの里にてお泊り会を開催し、水遊びやスイカ割り、花火など、夏ならではの活動を楽しみました。
2日目には散歩がてらザリガニ釣りにも挑戦！！お天気にも恵まれ、「水遊びしたい！」という子どもたちの希望も叶えることができました。
食事作りでは、たこ焼きやカレー、流しそうめんをみんなで一緒に準備し、上手に美味しく作ることができました。
たくさん遊んで、食べて、笑った2日間。夏の思い出いっぱいのお泊り会となりました。





毎年恒例☆夏のキャンプ!!　あおむしへ行ってきました



8月20日～21日に夏キャンプ「山のくらし」を開催しました。中央有鄰学院の山小屋あおむしへ到着すると、なんと鹿がお出迎え！また、夏とは思えないほど涼しい一日で、雨にも降られましたが、川遊びの時間には上がりました。子どもたちは、冷たい川の水に「寒い！」と言いながらも、魚を捕まえたり、水をかけ合ったりと元気いっぱい川遊びを楽しみました。
そして今回、子どもたちが自分たちで考え、準備したお化け屋敷をOPEN！「どうしたら怖くなるかな？」と工夫しながら、飾りや仕掛けを一生懸命手作りしました。子どもたちのアイデアが詰まったお化け屋敷は、キャンプの楽しい思い出の一つとなりました。
たくさん遊んだ帰りの車中で、男の子たちはぐっすり夢の中。女の子たちは最後まで元気いっぱいおしゃべりを楽しみ、笑顔と思い出いっぱいの夏のキャンプとなりました。









ユース向け企画
『魔法のキラキラゼリー　パンナコッタをつくろう ！』



昨年から、大きい子（ユース）向けのイベントを開催しています。 のんびりまったり室内で出来ることを…との思いから、8月7日にお菓子作りを企画しました。
菓子講師の経験もある柴田先生(乳児院職員）にお願いし、キラキラゼリーを乗せたパンナコッタを作りました。
また「バタフライピー」というハーブティを使い、レモン汁を混ぜると色が青から紫に変わる様子を見て子どもたちはびっくり！
柴田先生から「お菓子作りには理科や算数の知識が必要」と教えてもらいました。
作った後はみんなで試食。「おいしい～！」という言葉とともに、楽しい時間を過ごしました。

ユース向け企画『デイキャンプ』



8月25日に中高生を対象としたユース向けデイキャンプを開催しました。
到着後、子どもたちと会場の設営を開始。晴天にも恵まれ、川遊びはとても気持ちよく、穏やかな川で泳いだり、飛び込みにも果敢にチャレンジするなど、それぞれ川遊びを楽しみました。
川で遊んだ後は、みんなでBBQ。計算機を片手に子どもたちが自ら選んで購入した食材を囲み、仲間たちと真夏の楽しい一日を過ごしました。







8月外カフェ　『同朋大学～夏休み企画～』



8月27日に同朋大学との夏休み企画として外カフェを開催しました。大学の先生や学生ボランティアの皆さんにご協力いただき、子どもたちは大学生のお兄さん、お姉さんと一緒に、工作やボウリングなどのワークショップを楽しみました。
また、子どもたちの中には大学生に勉強を教えてもらう姿もあり、「分からないところを教えてくれたり、一緒に考えたりしてくれてうれしかった。」との感想もありました。最初は緊張していた子も、一緒に過ごすうちに少しずつ打ち解け、楽しそうに過ごしていました。
大人同士もゆっくりとお話しすることができ、子どもも大人もそれぞれ交流を楽しみ、新しいつながりが生まれる機会となりました。





夏休み親子ワークショップ『空気砲を作ろう!』

8月29日に理科の先生でもある里親さんを講師としてお招きし、ワークショップ「びっくり空気砲をつくろう！」を開催しました。

材料は、ペットボトルとダンボール箱を使い、コンパスやカッターナイフを使う少し難しい作業でしたが、子どもたちはどの子も目をキラキラさせて取り組んでいました。それを見守る里親さんたちは、ちょっぴりハラハラ・ドキドキ。親子で工夫を凝らしたステキな空気砲が次々と完成しました。

「なぜ、空気が飛び出してくるのだろう？」という素朴な疑問に講師の方が分かりやすく答えてくれました。そして「なんでだろう？と考え、ワクワクする気持ちを楽しんで理科を好きになって欲しい」というステキなメッセージをいただきました。

親子で遊びを通して科学の不思議に触れた一日になりました。

スキルアップ研修
『実子のいる里親家庭に向けた研修』



8月24日にスキルアップ研修『実子のいる里親家庭に向けた研修』を実施しました。グループワークでは、同じ立場だからこそ聞けることや、それぞれの家庭での工夫などを共有しました。参加された方からは、「実子をメインとした話が新鮮だった」「実子についてゆっくり考えることができた」「実子と里子を一緒に養育している方の話が今後の参考になった」などの感想をいただきました。

スタートアップ研修『こんにちは赤ちゃん！里親実践編』



9月13日にスタートアップ研修『こんにちは赤ちゃん！里親実践編』を実施しました。

日常で起こりやすい事故について、ベビーベッドやベビーカーを実際に見ながら、どこに危険が潜んでいるのかを確認しました。参加された方からは、「実際に見ることで分かりやすかった」「思わぬ事故や気づきにくい事故を知ることができ、参考になった」との感想がありました。

また、月齢ごとの離乳食や、子ども用のアクアライト、液体ミルクなども体験しました。実際に味わってみることで、味の濃さや素材の味、飲み物のカロリーなど、さまざまな気づきがありました。

グループワークは、「こんな委託の相談があったらどうする…？」というテーマの架空事例を用いて行いました。児童相談所や里親さんの実体験を聞いて、「悩みを共有できてよかった」「情報交換ができてよかった」との声も聞かれました。





啓発活動について

7月20日に「なるぱーく」で里親制度の啓発イベントを行いました。当日はたくさんの方にお立ち寄りいただきました。

ほだかの里では、なるぱーくでのイベントのほかにも、各区役所や図書館での写真・パネル展示など、さまざまな啓発活動を行っています。

また、10月1日には 守山区主任児童委員会議にて、里親制度の概要や里親家庭についての説明も行いました。

今後も里親制度が皆さんにとって身近なものとなるよう、さまざまな場所で啓発活動を続けていきます。

ほだかの里 の予定

10月

5日　さとカフェ
11日　あいフェスタ　啓発
（イオンモール熱田）
21日　外カフェ「陽まわり」
22日　こがめサロン
24日　さとカフェ
31日～西区役所　写真パネル展示

11月

2日～守山区役所・中川区役所
写真パネル展示
8日　新規里親交流会
9日　さとカフェ
12日　スキルアップ研修
14日　秋キャンプ（～15日）
18日　外カフェ
「苗代コミュニティセンター」
23日　ユース向け企画（登山）
29日　秋のカフェ＆マルシェ

12月

1日～千種図書館
写真パネル展示
7日　さとカフェ
10日　こがめサロン
21日　外カフェ
25日　AM:クリスマスワークショップ
PM:さとカフェ

ほだかの里カレンダーは
こちらから →

スタッフコラム

『同じなのに違う』

スポーツを見ていると、同じ試合を見ているはずなのに、応援している選手やチームによって、その試合の印象がまったく違うことがあります。

応援しているチームが勝てば「最高の試合だった」と思う一方で、負けたチームを応援していた人にとっては「悔しい試合だった」かもしれません。

一つのプレーを見ても、「よくやった！」と思う人もいれば、「惜しかった」と感じる人もいます。

見ているものは同じでも、どこから見るかによって、見え方や感じ方は違う。

これはスポーツだけではなく、普段の生活の中にもあるように思います。

誰かにとっては何気ない一言や出来事でも、自分の中では思った以上に重く、大きなものになることがあります。反対に、自分が何気なく言ったことやしたことも、きっと誰かの心に残っているのでしょう。そして、お互いにそのことに気づいていないこともあるのだと思います。

また、同じことを伝える場合でも、「ここができていない」と声をかけるのか、「ここまでできている」と声をかけるのかで、受け取る印象は変わります。

同じ出来事でも、これまでの経験やそのときの気持ち、置かれている状況によって、受け止め方は人それぞれ違います。

相手にどう見えているのか、相手がどう感じているのかを、すべて分かることは難しいのだと思います。

だからこそ、「自分にはこう見えているけれど、相手にはどう見えているんだろう」と考えてみることも大切なのかもしれません。

同じものを見ていても、見えているものは同じとは限らない。

そんなことを、スポーツを見ながら思うことがあります。

三関

里親支援センターほだかの里
〒459-8003 名古屋市緑区大高台二丁目1718
TEL ：052-693-5613　　Mail ： hodakanosato@yuuringakuin.or.jp
受付時間：月～土 9時～17時（水曜・祝日・年末年始除く）

※ほだかの里の催しについては、ほだかの里公式LINEからお知らせしています。
参加を希望される方は、公式LINEにご登録ください。

Instagram　F.HODAKANOSATO

LINE 公式アカウント